

電子書籍流通への取り組み ～NetLibraryを中心に～

(株)紀伊國屋書店 営業推進本部 牛口順二

2010年5月17日

デジタルネットワーク社会における出版物の利活用の推進に関する懇談会
利活用に関するワーキングチーム(第2回)

本日のおはなしの内容

1. NetLibraryへの日本語コンテンツの搭載
国内出版社へのビジネスモデルの提案
2. 導入図書館での利用例
電子書籍の特性を生かした利用
利用環境の整備

NetLibraryとは

- NetLibraryは、主に図書館向けの電子書籍の閲覧サービス。
1998年に創立、2002年1月よりOCLCの一部門となり、それに伴い
紀伊國屋書店が国内販売総代理店となる。
- 世界50カ国の17,500館に提供中
日本国内では、172機関が利用中
- 主に学術研究図書館向けのeBookコレクションを提供
21万タイトルの約90%が学術研究機関向け
文系、理系を問わず多岐に渡る分野をカバー
- 欧米の主要出版社のほとんどが参加(約500社)
Springer, Elsevier, Oxford U. P., Cambridge U. P., CABI, Wiley,
Taylor & Francis (Routledge, CRC Press etc.)など

NetLibraryのサービス概要

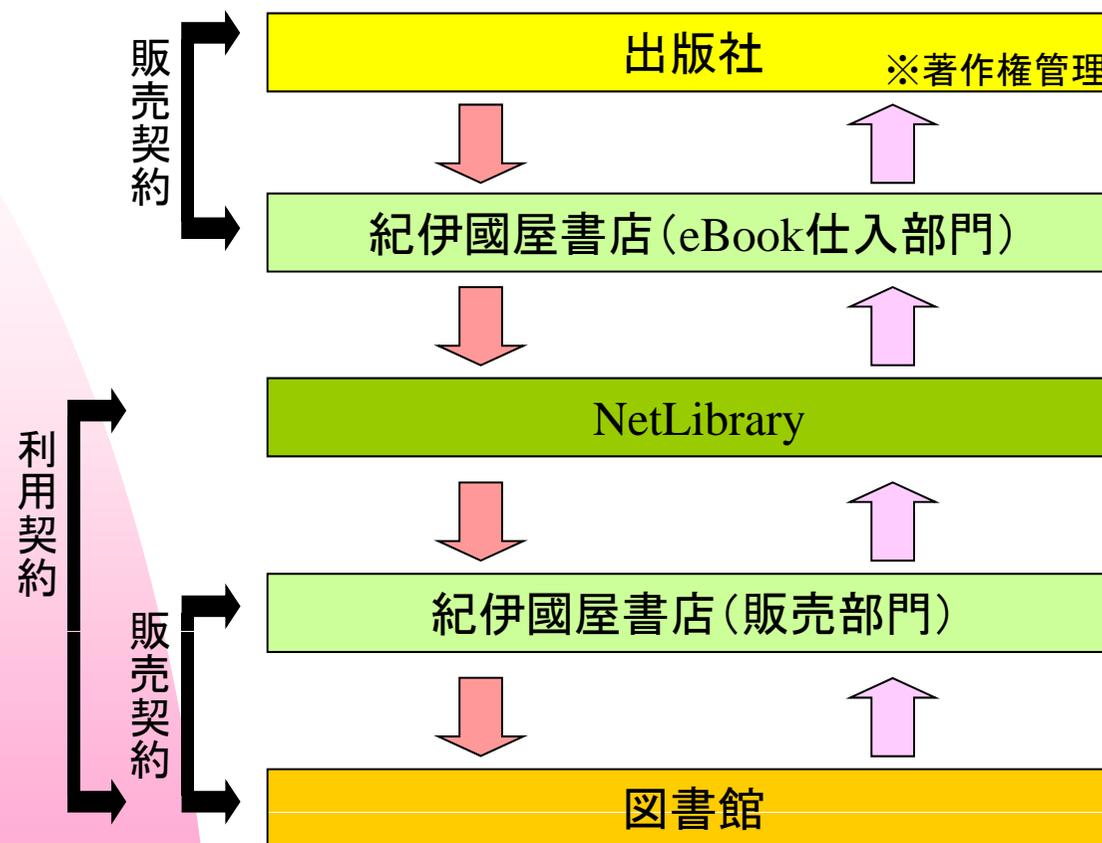
- インターネット経由、PC上で閲覧が基本
(ダウンロード貸出モデルもある)
- eBook間の全文横断検索、書籍内の全文検索機能
- 個人専用のメモ機能
- 辞書機能内蔵
- 印刷体書籍に準じた範囲でコピーまたは印刷が可能
- タイトル単位での買い切りモデル
- 1部につき、1人しか同時利用できない。



和書コンテンツの搭載

- サービス開始当初から、日本語コンテンツ搭載への強い要望
背景に、学術情報流通の電子化・ネットワーク化の進展
- 2006年8月に、システムバージョンアップし、多言語対応となったのを受けて、日本語コンテンツの提供準備開始
- NetLibraryシステムの日本語検索システムの改善支援
- 国内出版社への日本語コンテンツ搭載のビジネスモデルの提案
 - ①市場のニーズに対応したタイトル選定提案
 - ②価格モデル
 - ③デジタル化作業受託モデルの提案（凸版印刷との協業）

NL和書プロジェクト概念図



↓ eBook提供の流れ ↑ 支払いの流れ

NL和書コンテンツ販売の現状

- 2007年11月から提供開始
2010年4月時点で38社から1,593タイトル
- 販売実績
販売開始から約2年強で180機関で導入

国公立大学	53
私立大学	96
国公立研究機関	12
企業など	10
公共図書館	1
海外大学	8 (米国、カナダ、豪州、台湾)

タイトル充実に伴い売上伸長



主な収録タイトル

公共哲学（全20巻）	東京大学出版会
ベルグソン全集（全9巻）	白水社
日本随筆大成（全105巻）	吉川弘文館
卜部亮吾侍従日記（全5巻）	朝日新聞出版
現代史資料（45巻+索引）	みすず書房
シリーズ日本語のしくみを探る（全7巻）	研究社
金田一春彦著作集（全12巻+別巻）	玉川大学出版部
宮本常一著作集（全50巻）	未来社
日本近代立法資料叢書（全16巻）	商事法務
日本の国際政治学（1-4）	有斐閣
基礎数学シリーズ（1-23）	朝倉書店
数理物理学方法序説シリーズ（全9タイトル）	日本評論社
理工学講座（全35巻）	東京電機大学出版局
日本の産業システム（全9巻）	NTT出版
神経科学 形態学的基礎	医学書院
最新 手術看護マニュアル	メジカルフレンド

NLのデータ仕様

■ コンテンツデータ

① 書籍データ

- ・PDFファイル

表示用、版面表示

- ・テキストファイル

検索用

ーNL搭載全書籍のフルテキスト検索用(全頁1ファイル)

ー単一書籍のフルテキスト検索用(頁単位のファイル)

② 目次データ

- ・XMLファイル

目次リンク用

■ MARCデータ

③ 書誌情報

eBook の活用と利用環境整備

図書館サイト上での各種支援ツールとの連携
eBookは、積極的に存在を示す仕掛けも必要

■ OPAC (図書館蔵書目録) との連携

- ◆ 購入したeBookの目録データを提供
- ◆ OPACへロードすることにより、プリント版と併せて蔵書として利用者へ提供可能
- ◆ MARC21またはNACSIS準拠フォーマットにて提供

■ 学習情報源とのリンク

- ◆ シラバス (授業計画)
- ◆ パスファインダー (テーマ別資料案内)

(一例) 授業資料ナビゲーターと電子書籍のリンク (千葉大学)

The screenshot shows the PathFinder website interface. At the top, there's a navigation bar with tabs for '授業コア科目', '教養副科目', and '文学部'. Below this, there's a search area with a search box and a '検索' button. The main content area displays search results for '数理1・数理3' (Mathematics 1 and 3) by Tetsuya Taniyama. The results include a table with columns for '科目名', '担当', and 'キーワード'. Below the table, there are sections for 'eContentの詳細' (eContent details) and 'このeBookを閲覧する' (View this eBook), which includes a list of search results with links to the full text and a 'フルテキスト' button. The interface also features a '簡単検索' (Simple Search) section with a search box and a '検索実行' button.

授業資料ナビゲーター(PathFinder)とは...

授業で学ぶ内容の基本的な知識が得られる情報源やキーワードを、コンパクトにまとめたリストです。

ウェブページや紙で提供されるので、インターネットの検索に取り掛かるのも簡単、図書館で本を探しに行くにも便利です。講義を行なう先生と図書館が相談して作ったものなので、授業にピッタリです。

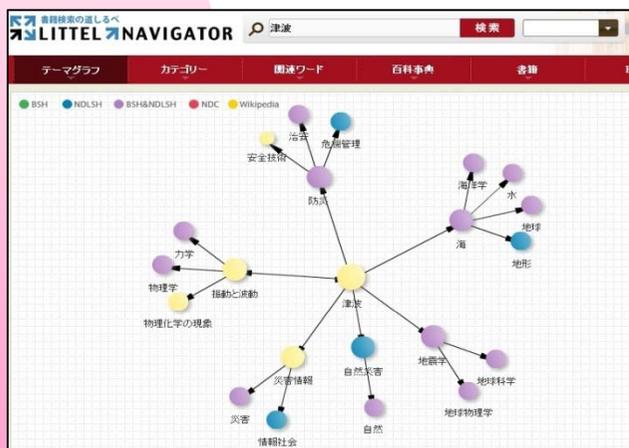
(千葉大学図書館ホームページより)

eBook の利用環境整備

求める資料に行きつくための支援ツール

■ 検索支援ツールとの併用

非統制語から統制語系(NDL件名、NDCなど)への繋がり可視化



リッテルナビゲーター: 東京大学情報基盤センターの研究成果をもとに開発されたサービスです。